



I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS

発行元:早稲田システム開発株式会社 東京都新宿区高田馬場4-40-17 tel.03-6457-8585

✉ maps@waseda.co.jp 🏠 www.waseda.co.jp/

Vol.2 2022.02.28 今回のテーマ | デザインコンセプトとホーム画面

今回の内容

日頃は「I.B.MUSEUM SaaS」をご利用いただき、誠にありがとうございます。1月末に発行いたしました第1号では、皆様からさまざまな反響が寄せられました。コメントをくださった皆様、誠にありがとうございました。

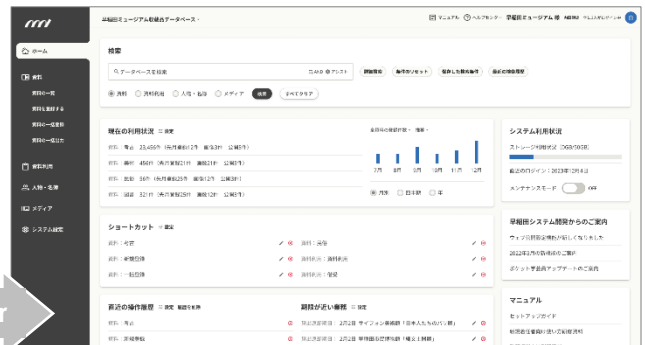
お寄せいただいたご意見・ご感想を拝見いたしますに、最も目立っていたのが「新しい操作環境」へのご不安です。最近、弊社でもスケジュールやプロジェクトの管理などでクラウドサービスを利用しておりますが、ソフトウェア個別の完成度はそれぞれに高いものの、「振る舞い」の部分で開発元企業の思想や姿勢が表れるもの。全貌が見えない現状では、戸惑いをお感じになるのも当然のことと理解しております。

本日、第2号としてお知らせいたします「デザインコンセプトとホーム画面」は、今回のリニューアルの象徴とも言える部分となります。画面を見た瞬間に大きな違和感を覚えないうか、ログインして開いた時に迷うことがないか。そんな観点から議論を重ねて方針を固め、今も細部の検討を続けております。

掲載情報は現時点で計画中のものとなりますが、最も「変化」を実感しやすい部分かもしれません。上記のご不安を和らげるとともに、より便利にお使いいただける機能も多くご用意しておりますので、館内で回覧いただくなど、ぜひ皆様でご覧いただけましたら幸いです。

I.B.MUSEUM SaaS リニューアル情報 EXPRESS 発行予定

Vol.1	2022/1/31	リニューアル計画概要とログイン画面
Vol.2	2022/2/28	デザインコンセプトとホーム画面 Now!
Vol.3	2022/3/31	検索トップと検索結果一覧
Vol.4	2022/4/30	詳細画面の特徴
Vol.5	2022/5/31	データ登録方法
Vol.6	2022/6/30	資料利用
Vol.7	2022/7/31	人物・名簿とメディア
Vol.8	2022/8/31	公開設定
Vol.9	2022/9/30	項目設定
Vol.10	2022/10/31	帳票設定
Vol.11	2022/11/30	ユーザ管理・一括処理
Vol.12	2022/12/31	移行方法と並行運用について
Vol.13	2023/1/31	総集編 (Vol.1からVol.12までを1冊に)



リニューアル情報② デザインコンセプト

シンプル&モダンなデザインで、 なじみやすく、長く使えるシステムへ。

今回のリニューアルにおける画面デザインにあたっては、「日常的に目にする」「長く使い続けること」を強く意識しております。そこで、できるだけ装飾的にならず、主張すぎないデザインを心がけました。また、少し温かみを感じられる暖色系のグレーをベースとして採用しておりますが、これはMicrosoft製品などOSや周辺ソフトウェアとの判別のしやすさを重視しつつ、彩度を抑えることで資料画像などの色味の感覚を阻害しないよう配慮したものです。

一般的なスマホアプリなど
見た目の親和性を確保。

普段触れるものと同じ感覚で
利用できるデザイン。

近年は、スマートフォンで良質なインターフェイスを日常的に目にしています。そこで、普段使っている一般的なアプリやWEBサイトのデザインや操作感とかけ離れないことを意識。アイコンも、AndroidやiPhoneなどで見慣れたイメージに近づけています。

併せて、作業の効率アップをサポートすべく、よく使う機能やボタンにアクセスしやすいよう画面全体の配置を見直しています。加えて、パソコンやタブレットなど利用する端末の違いで印象が大きく変化することがない画面づくりを目指しました。

リニューアル情報③ ホーム画面

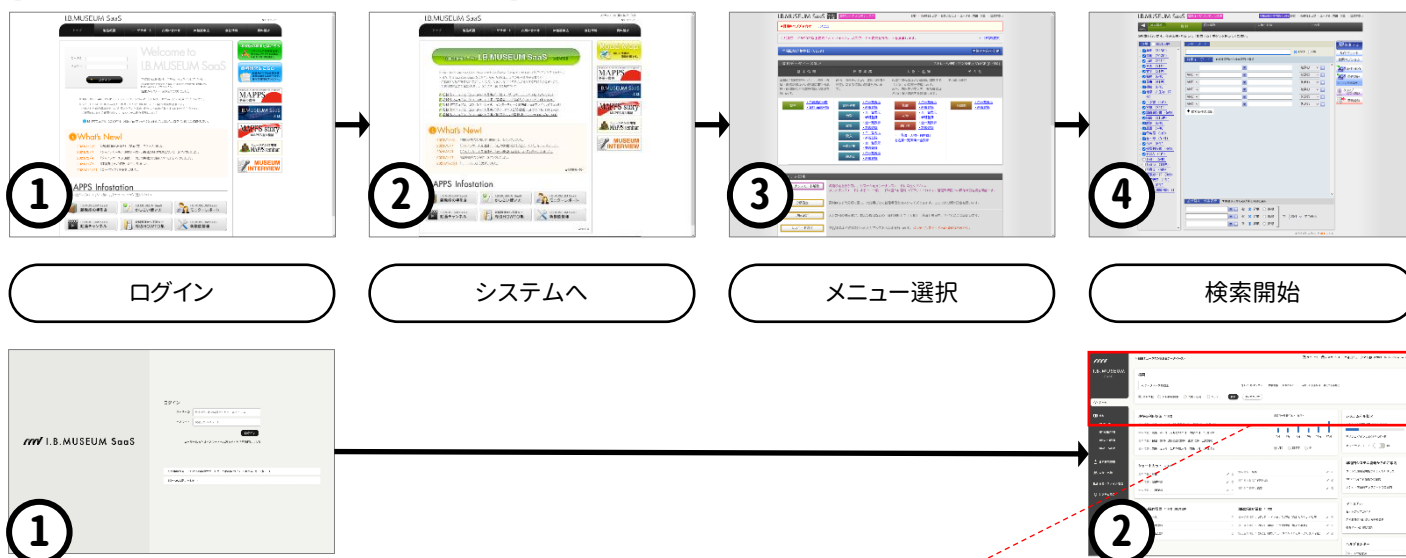


検索パネルへのアクセスを最短距離で。

弊社のWEBサイトで不定期連載中の「ミュージアム・インタビュー」でも頻出する通り、館内で特によく使う機能をお尋ねすると、ほとんどの方がまず「検索機能」とお答えになります。実際、問い合わせ対応や展覧会の出品資料(作品)の検討など、日常業務のさまざまな場面で多用してられるものと存じます。

使用頻度が高く、また急いで操作することも多い機能ですが、現行ではログインから検索パネルが表示されるまで3つの画面を経由しています。このプロセスが意欲を削ぐことはほぼないかと思いますが、ログイン直後のホーム画面に検索パネルがあれば、即座に検索に移れます。このように、今回のリニューアルでは、デザインやレイアウトとともに動線そのものも設計し直しています。

【検索パネルに到達するまでの画面遷移新旧比較】



【ホーム画面に表示される検索パネル】



メニューボタンだけを並べるのではなく、 情報を一望できるダッシュボードに。

銀行のATMの画面にはメニューボタンが並んでいますが、そこに現在の残高が表示されていれば、「いくらまで引き出せるか」がひと目で分かります。これと同様に、新しいホーム画面では、各機能への入り口となるボタンに加えて関連情報を表示し、仕事の状況やタスクについて鳥瞰的に一望できるダッシュボード機能を追加します。

① グローバルナビゲーション

- 現行画面で一面に並んでいたメニューボタンは、グローバルナビゲーションとして左側に集約。この縦配置は、ほぼすべての画面で共通となります。
- 一括処理やシステム設定なども同列に置くことで、よく行う作業に即座にジャンプすることができます。ただし、この画面は暫定版で、表示項目につきましては現在も議論を進めています。

② データベース名

- 資料データベースのほか、図書や備品専用のデータベースをご利用中の場合は、ここからデータベースを切り替えることができます。

③ 検索パネル

- 検索パネルは、画面上部に表示されます。細かな条件を指定する詳細検索にもワンクリックで遷移できるほか、詳細検索が表示された状態を初期表示に変更できる機能の追加を計画しています。
- 現行システムと同様に、よく使う検索条件を素早く呼び出せます。また、検索対象のカテゴリを選択できるボタンを用意。たとえば貸出担当の方なら予め資料の利用情報に絞り込んで検索できるなど、必要な情報にホーム画面から直接アクセスできるようになります。
- その他、詳細検索の機能は次号以降で詳しく説明いたしますが、現行の検索機能はすべて引き継ぐ予定ですので、どうぞご安心ください。

④ ログインユーザの表示

- 利用中のユーザご自身の情報が表示されるほか、現在何人がログインしているかも表示されます。クリックするとログイン中のユーザ名が表示されますので、システム管理者がメンテナンスモードに切り替える際などにお役立ていただけます。

The screenshot shows a dashboard for the 'Shizuoka Museum Collection Database'. It features a dark sidebar with navigation items (1), a top header with site name and user info (2, 4, 7), a search bar (3), a main content area with 'Current Usage' (5), 'Shortcuts' (6), and 'Recent Operations' (6), and a right sidebar with 'System Usage' (5) and 'Help Center' (7).

資料	先月登録	画像	公開
資料：考古	23,456件	12件	3件
資料：美術	456件	21件	3件
資料：民俗	56件	12件	3件
資料：図書	321件	12件	3件

資料	操作
資料：考古	資料：民俗
資料：新規登録	資料利用：資料利用
資料：一括登録	資料利用：借受

資料	操作	期限
資料：考古	貸出返却	2月2日
資料：新規登録	貸出返却	2月2日
資料：一括登録	貸出返却	2月2日

⑤ 利用状況の表示

- ご覧のように、分野別の登録件数を表示する機能を計画中です。特に、資料データの登録作業を進めておられる場合には進捗の「現在地」がすぐに分かるなど、便利にご利用いただけます。
- PDFファイルや大容量画像は標準で合計50GBまで登録できますが、現在のストレージの利用状況をインジケータで把握できるようになります。
- 現在、メンテナンスモード中かどうかについても、ここで確認できます。

⑥ ショートカットなど

※ほかの項目にも言えますが、ここで掲載する情報はすべて計画中のものとなりますのでご了承ください。また、以下はリニューアル完了後、機能改善のフェーズにて実装の見込みです。

- 前回のログインで行っていた作業の続きなど、最短距離で業務を再開できる環境を作ることができます。また、期日管理が必要な情報のリマインダー表示で作業の漏れを防ぐと同時に、ユーザ間の意思疎通や情報共有を促す役割も果たします。

- 頻繁に使う機能をブックマークできる機能の追加を検討しています。
- 作業中に来客や電話対応などで離席し、その間にログアウトしてしまっても、直前の作業へと簡単に戻れる機能の追加を検討しています。
- 寄託期限など期日管理が必要な情報は、期限が近づくと日付とともに表示。アラート的にお使いいただけます。

⑦ ヘルプ

利用頻度が高くない方や初めて操作する方など、システムに慣れていなくても迷わずに利用できるよう、マニュアルやヘルプセンターの表示方法を工夫しています。

現行画面では多様な読み物、コンテンツが一覧的に並んでいますが、目的の情報が探しにくい、その数に圧倒されてしまうといった声もありました。そこで、今回のリニューアルでは「必要な時に必要な機能や画面がすぐに表示される」という方針のもと、操作のサポート情報の表示方法にもひと工夫。弊社からのお知らせやお役立ち情報なども含め、より分かりやすい画面づくりを目指します。

今回のまとめと次号のお知らせ

ここまでお読みいただき、ありがとうございます。今回ご紹介いたしましたホーム画面は、システムの印象を決定づける「顔」とも言うべき存在ですので、変化の大きさに戸惑われる方もいらっしゃるかもしれません。しかしながら、より使いやすく、かつ向こう10年は色あせないシステムを目指すためには、避けて通れない変化となります。前号でお知らせいたしました並行運用など、弊社といたしましても可能な限りのサポートをお届けする所存ですので、何とぞご理解くださいますようお願いいたします。

さて、お気付きの方も多いかと存じますが、今回のリニューアルは、

時代に即した利用環境を目指すと同時に、これまで弊社にお寄せいただいた皆様のお声を可能な限り集約的に実現するという目的があります。

博物館クラウドを標榜する〈I.B.MUSEUM SaaS〉では、ことあるたびにユーザの皆様にご意見をうかがい、可能な限り反映する形で機能改善を繰り返して参りました。ユーザ本位のサービスは今後も変わりませんので、気になることなどありましたら、ぜひお気軽に担当スタッフにお伝えいただけましたら幸いです。

次回は、いよいよ実際の機能が伴う画面。中でも使用頻度が最も高いとされる「検索トップと検索結果一覧画面」をご紹介する予定です。では、次号にて。



- ※ 掲載スケジュールは、すべて発行時点での予定です。開発の状況により変更となることがございます。
- ※ 掲載のリニューアル画面は開発中のものです。